

未来への  
文化共創  
ウィーク

TEAM EXPO 2025 共創チャレンジ

イベント学会『地球市民』が実現する持続可能な社会の提言

**世界自然遺産5地域会議主催**

自然保護と  
暮らしを両立させる  
取り組みの**深化**に向けて

2025 **5/6** (火・祝)  
10:30 - 12:30

会場：大阪・関西万博会場内テーマウィークスタジオ

**世界自然遺産を有する日本国内5地域の連携で進められてきた対話の成果を発表します。**

それぞれの地域で人口減少や産業の停滞、外からの観光圧力などの問題を抱えながら  
世界遺産としてかけがえのない自然の保護と地域の経済・社会の活性化とを  
両立させるさまざまな取り組みを重ねてきました。  
世界自然遺産5地域会議では、万博参加を機に  
これまでの実績を踏まえて「自然保護と暮らしの両立」モデルを提示することを目指しています。



白神山地

知床



小笠原諸島



屋久島



奄美大島・徳之島



沖縄島北部・西表島

共創チャレンジによる3つの対話プログラム 同日開催

世界自然遺産5地域会議

いのちをつなぐ  
水と地域・地球市民フォーラム

関西・歴史文化首都フォーラム



いっしょに、いこな！  
大阪・関西万博



共催：イベント学会、一般社団法人 地球産業文化研究所

2025 **5/6** (火・祝)  
10:30 - 12:30

# 自然保護と暮らしを両立させる 取り組みの深化に向けて

「両立」をめぐる、各地域が共通して  
直面している課題について、  
先進事例の報告を受けながら、  
様々な立場・地域と観点から意見交換を行います。  
この議論を通じて、  
「両立」のための仕組み・条件や  
「両立モデル」のイメージを探ります。

会場 大阪・関西万博会場内テーマウィークスタジオ

## ●プログラム

**5地域の自然を映像で紹介** 協力：TBS テレビ番組「世界遺産」  
モデレーター：田中 俊徳（九州大学准教授・環境政策・ガバナンス論）

**事例報告①「持続可能な利用のための観光管理」**（西表）  
徳岡 春美（一般財団法人西表財団 事務局長）

**事例報告②「多様な主体の参加促進と協働」**（知床）  
山本 幸（公益財団法人知床財団 事業部長）

## パネルディスカッション

- ・ 齋藤 栄作美（秋田白神ガイド協会会長）
  - ・ 渋谷 正昭（小笠原村村長）
  - ・ 洲上 奈央子（ダイキン工業株式会社 CSR・地球環境センター）
  - ・ 中山 洋彦（世界自然遺産推進共同体代表、JAL 鹿児島支店長）
  - ・ 則久 雅司（環境省九州地方環境事務所長）
- \* モデレーター：田中 俊徳

## コメント

小野寺 浩（屋久島環境文化財団理事長・世界自然遺産5地域会議代表）

## 全体のまとめ

モデレーター：田中 俊徳

## ●登壇者プロフィール



### 田中 俊徳

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構准教授  
環境政策・ガバナンス論。京都大学博士、元ユネスコ本部  
世界遺産センター研修員。国立公園や世界遺産、ユネス  
コエコパーク等の保全管理政策を対象に、21世紀型の自然  
保護地域のあり方について、ガバナンス論（法制度、行政、  
組織）の立場から研究。



### 渋谷 正昭

小笠原村村長  
1982年に筑波大学大学院を修了。1983年に小笠原村入  
庁。2004年から15年まで小笠原村の総務課長、産業観  
光課長を務め、2015年9月から副村長、2021年9月か  
ら現職。エコツーリズムの先駆けとなるホエールウォッチ  
ング協会をはじめ、エコツーリズム協議会、村観光局の設  
立に尽力。



### 小野寺 浩

公益財団法人屋久島環境文化財団理事長、  
大正大学客員教授  
1973年環境省（当時環境庁）に入庁。自然環境局長など  
を歴任。自然再生法、外来種法の新規立法や自然公園法  
の改正などに多数従事。屋久島や知床、奄美群島を世界  
自然遺産登録へと導いた。現在、世界自然遺産5地域会  
議代表を務める。



### 洲上 奈央子（すがみ なおこ）

ダイキン工業（株）CSR・地球環境センター  
2003年ダイキン工業株式会社入社。2011年よりCSR・地  
球環境センターに在籍し、サステナビリティに関する社内  
外コミュニケーション全般を担当。特に生物多様性保全事  
業に情熱を注いでおり、「森は地球のエアコン」のキャッチ  
フレーズで世界7カ所の森林保全プロジェクトを推進中。



### 徳岡 春美

（一財）西表財団事務局長  
静岡県出身。2003年に西表島に移住。NPO法人西表島  
エコツーリズム協会事務局長を経て、2022年の一般財団  
法人西表財団設立時に同財団事務局長に就任。西表島の  
自然環境保全、文化継承、エコツーリズム推進に取り組み、  
「竹富町観光案内条例」「西表島エコツーリズム推進全  
体構想」などの制度設計にも携わる。



### 中山 洋彦

1993年日本航空入社、2024年より鹿児島支店長を務める。  
世界自然遺産推進共同体代表。共同体は、奄美大島、徳  
之島の世界遺産登録への貢献を目的に発足。遺産登録後  
は、保全と活用のため、ロードキル防止対策や質の高い観  
光保持などに取り組む。奄美群島の観光関連の企業・団  
体を中心に71社が加入（2025年3月）。



### 山本 幸

（公財）知床財団  
神奈川県横浜市出身。大学時代のサークルで初めて知床を  
訪れ、以来通うようになる。卒業後は、東京で会社勤め  
のち、退職して知床へ。2010年知床財団に入職し、環  
境教育などの普及対策や広報事業、公園管理、収益事業  
などを担当してきた。現在は、外部パートナーの拡充に向  
けて渉外業務も担当している。



### 則久 雅司

環境省九州地方環境事務所長  
1992年、自然系技官（レンジャー）として環境庁入庁。国  
立公園、外来生物対策、生物多様性戦略、動物愛護管理  
等を担当。釧路自然環境事務所次長、鹿児島県自然保護  
課長、環境省自然環境計画課長等を歴任し、各地の世界  
自然遺産の保全管理に携わる。2024年7月より現職。



### 齋藤 栄作美

秋田白神ガイド協会会長  
1949年藤里町柏毛生まれ。マタギの祖父と仙父の父の元  
で育つ。中学卒業後、北海道、岩手、宮城県で林業に従事。  
20代で帰郷し、89年からはガイドを開始。初代白神山  
地世界遺産センター藤里館自然アドバイザー。ガイドやメ  
ディアを通じて、白神の森の価値と共生の実体験を伝えている。

開催告知 会場：シャインハット



2025 **6/5** (木)  
5地域による1day 祭典開催

千の自然・千の時間  
私たちと世界自然遺産5地域

国際シンポジウム・子ども作文コンクール  
大型自然映像上映・芸能パフォーマンスなど